



## 3月の園だより

学校法人志賀学園  
松の実こども園  
令和8年3月1日

暖かく柔らかい日差しが差し込むようになり、ガーデニングクラブのお母様方が植えてくださったロータリーやプランターの草花が色鮮やかに咲き始めました。

さて、先日の一年間の総まとめの行事、わくわくキッズコンサートでは、大きなお口で歌をうたったり、お友だちと心を合わせて楽器の演奏を楽しむ様子をご覧いただき、日頃の音楽活動の成果や、お子様の成長を感じられたことと思います。

特に今年1月に理事長先生から示された教育方針でもあります、「こどもたちの“やってみたい！”に応える保育をしよう」ということで、常日頃から子どもたちが歌いたい曲や演奏したい曲や楽器を聞いて発表に至りましたので、皆、音楽に親しみ楽しく取り組むことができました。遊びの中でも、さくら1組では玉入れを楽しんでいたところ、バスケットボールに興味を示したのでバスケットゴールを設置すると、ドリブルやシュートの練習やゲームを楽しむようになりました。さくら2組では、生活発表会で発表した「美女と野獣」の映画を見たいという声から、ロフトの階段下を黒い幕で覆い椅子を並べて映画館を作りました。看板やチケットを作成したり、「ポップコーンを食べながら見るんだよね!」と、段ボール箱で機械を作り、丸い発砲スチロールをポップコーンに見立て紙コップに入れて、食べる真似をしながら映画館ごっこが始まりました。その後、全園児ホールで実物の映画の鑑賞をして、手作りポップコーンを頂きながら、もうすぐ卒園を迎えるさくら組さんとの交流を深めました。「子どもの能力は無限大!」こども園で創意工夫した様々な楽しい経験が、これからの子どもたちの生きる力に繋がって行くことと信じております。

3月3日は「ひな祭り」。女の子の成長を祝う行事で、桃の花が咲く頃に行われるので「桃の節句」とも言われています。お内裏様・お雛様・三人官女・五人囃子など名前を知ることによって日本の伝統行事に親しむことができます。こども園では、3月3日にひな祭り会とさくら組で恒例の桜餅作りを行います。当日はひなあられを持ち帰りますので、ご家庭でお召し上がりください。また3月20日は「春分の日」です。春分の日とは、昼と夜の長さがほぼ同じになり、その前後7日間を「春の彼岸」といいます。「彼岸」とは仏教のことばで「この世を離れて仏の世界に行く」という意味で、太陽が真西にしずむ春分(秋分)の時期は、先祖を偲び感謝の思いを奉げるのに最も良い時とされ、お墓参りをする事になっています。

これから、3月の土・日を利用して、暖房設備をヒーターからエアコンに変える工事を行います。子どもたちの保育には差し障りはありませんが、今後とも子どもたちが安心・安全に、快適な生活ができますよう配慮して参ります。この一年間、保護者の皆様には温かいご理解とご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。